

科目名	子どもの理解と援助			担当教員	石田 開、石田 開	
単位	1単位	講義区分	演習		ナンバリング	
期待される学修成果						
アクティﾌﾞ・ﾗｰﾆﾝｸﾞの要素	ｸﾞﾙｰﾌﾞﾜｰｸ					
実務経験	(空白)					
実務経験を生かした授業内容	(空白)					
到達目標及びテーマ	①保育や教育に特に関連の深い側面での子どもの発達について知る。②人間の学習や動機づけの原理について理解を深め、子どもの生活や遊びにおいてそれがどのように作用しているか、考えることができる。③子どもの個人差に対する考え方や子どもと環境との関係について学び、発達援助に活かせる。④保育における観察・記録やその共有の在り方について、妥当性・信頼性の観点で理解する。					
授業の概要	子どもに対して保育を行う、何かを教えるということに関連した、心理的過程について学ぶ。①期間の最初に、特に保育・教育場面に関係の深い記憶や数に関する発達について概説する。②次に、保育や教育のプログラムの多くがそれにもとづいている、学習とその動機づけについて、様々な現象とともに考える。③また、保育所（あるいはこども園、幼稚園）は多くの子どもが集団で過ごす場面であることから、子どもと他者（教師や他の子ども）との関係について学び、最後には保育や教育において子どもを捉える際の観察や記録について、妥当性および信頼性の概念を学ぶ。その際、授業の対象概念について受講者が主体的に考えるべく、適宜グループワークを行う。「教育心理学」での学習を前提として授業進行する。【デジタル技術利用 該当番号①⑥】					

授業計画	
第1回	導入：科目の目標・概略・授業計画の確認および保育所保育「養護と教育との一体的展開」との関連
第2回	子どもの発達と生活(1)人の記憶についての心理学的な考え方
第3回	子どもの発達と生活(2)赤ちゃんや幼児の記憶
第4回	子どもの発達と生活(3)数えることの発達
第5回	個々の課題やつまづきの理解と援助(1)「出来事と出来事との結びつき」で考える
第6回	個々の課題やつまづきの理解と援助(2)「行動と出来事との結びつき」で考える
第7回	個々の課題やつまづきの理解と援助(3)「結びつき」による学習の応用
第8回	個々の課題やつまづきの理解と援助(4)子どもの意欲について考える
第9回	子どもにとっての環境(1)人的環境としての保育者や子ども集団の意義を考える
第10回	子どもにとっての環境(2)環境とは何なのか[グループワーク]
第11回	子どもにとっての環境(3)発達に困難を抱える子どもとその環境について考える
第12回	子ども個々を理解する切り口(1)「個性」とは何か、どう捉えるか
第13回	子ども個々を理解する切り口(2)「知能」とは何か、どう捉えるか[グループワーク]
第14回	子ども個々を理解する切り口(3)観察・記録・評価およびその共有について考える[グループワーク]
第15回	授業のまとめ：心理学の考え方を保育に活かす

事前学修	0.5時間	1-4回：「教育心理学」あるいは「発達心理学」で学んだ内容を見直すとともに、学外実習等で見た子どもの発達について振り返る。5-8回：1年次「発達・学習心理学」で学んだ学習原理の基本について復習する。9-15回：実習等で見た子どもの姿を振り返るとともに、授業で指示する事前課題に取り組む。
事後学修	0.5時間	1-4回：「教育心理学」等の内容や学外実習等での子どもの姿などと本授業の学習内容とを結びつけて理解しておく。5-8回：学習の原理と様々な現象、子どもの環境や人間関係について、自分の日常や子どもの姿といった具体例と結びつけて理解する。9-15回：学習内容と自らや子どもの姿とを結びつけ、保育への活用を考える。
フィードバックの方法	授業数回毎に受講者からコメントを提出してもらい、それに対して翌回授業で返答する。 また、「UNIVERSAL PASSPORT」に定期試験の解説を掲載する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
--------	-------	-------

定期試験	75%	授業配布資料の持ち込みを許可し、用語の単純な暗記ではなく、概念や論理への理解を測る
上記以外の試験・平常点評価	25%	授業に出席した上で、各回の授業内容に対するコメントまたは質問を提出することに対して評価する
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	なし
参考資料	高村和代ほか（編）『主体的に学ぶ発達と教育の心理学』（ナカニシヤ出版）ISBN:978-7795-1654-2 「保育所保育指針」（平成29年3月 厚生労働省） 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月 内閣府／文部科学省／厚生労働省）			